

公営企業会計

令和4年度 企業局の決算について

経済建設委員会資料
令和5年9月15日提出

公営企業会計予算の仕組み

※ 3つの財布について



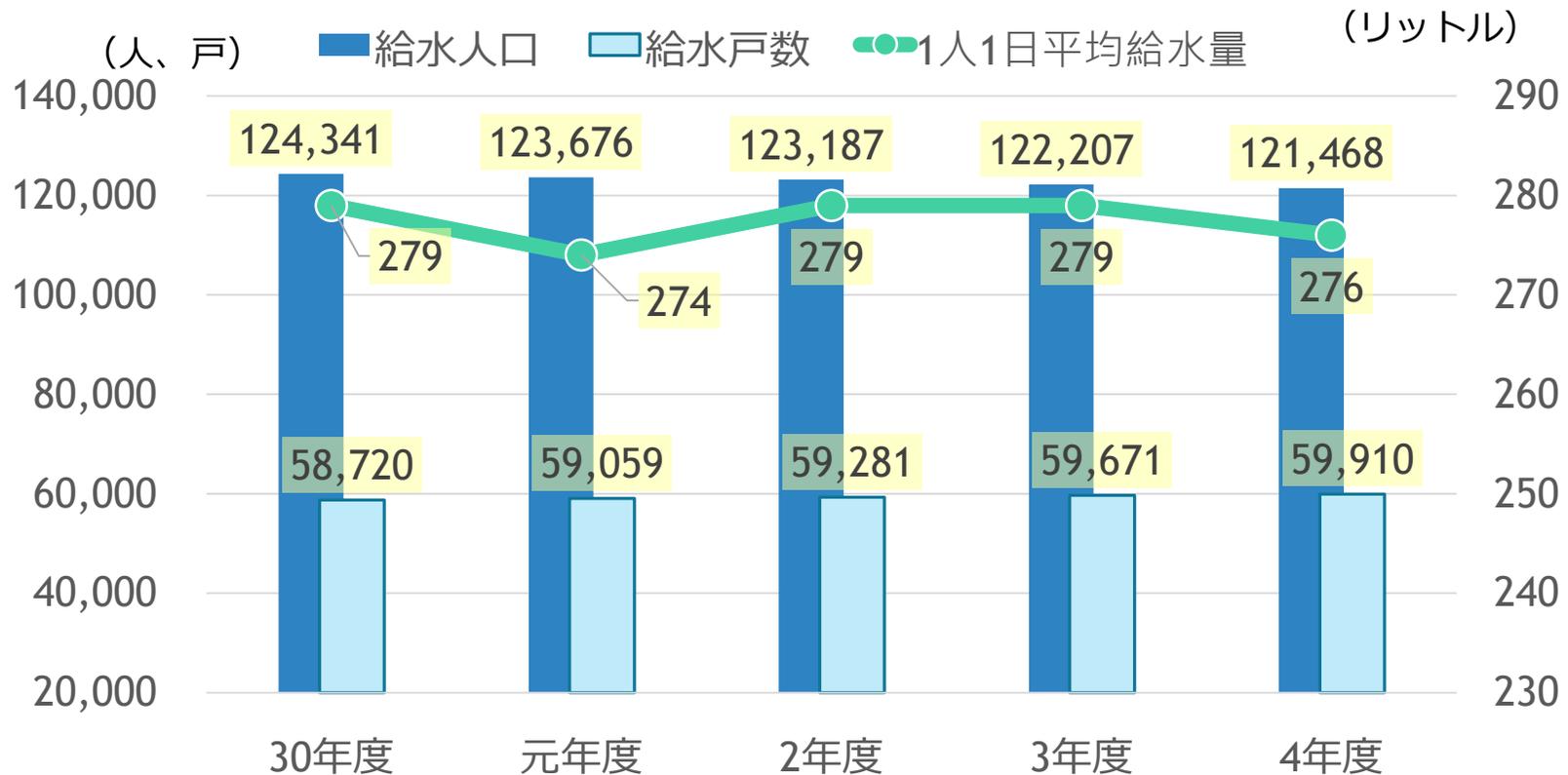
水道事業会計

令和4年度決算の説明

1 水道事業会計

1-1 水道事業の推移

○給水人口、給水戸数、1人1日平均給水量の推移

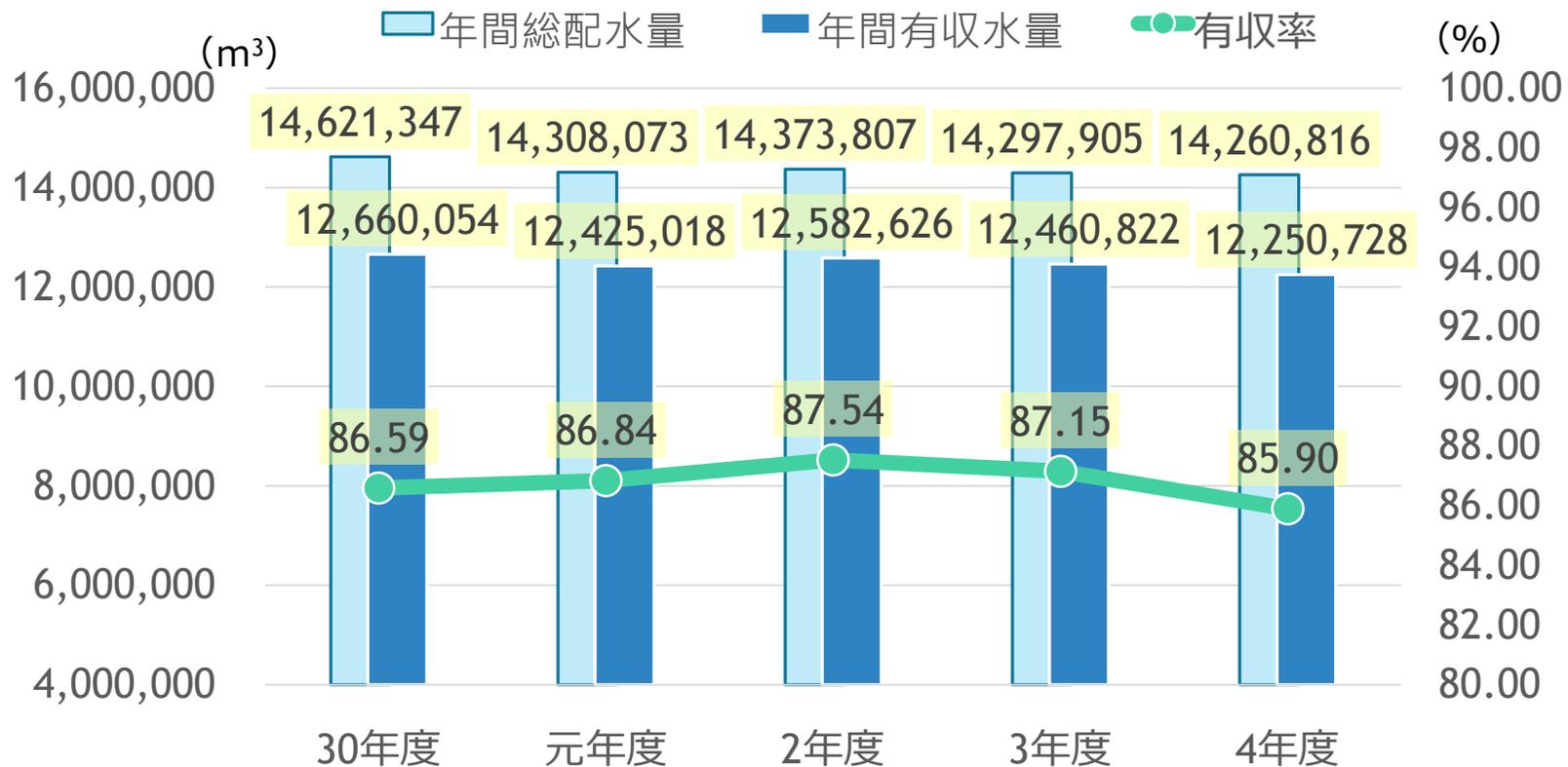


令和4年度決算の説明

1 水道事業会計

1-1 水道事業の推移

○年間総配水量、年間有収水量、有収率の推移

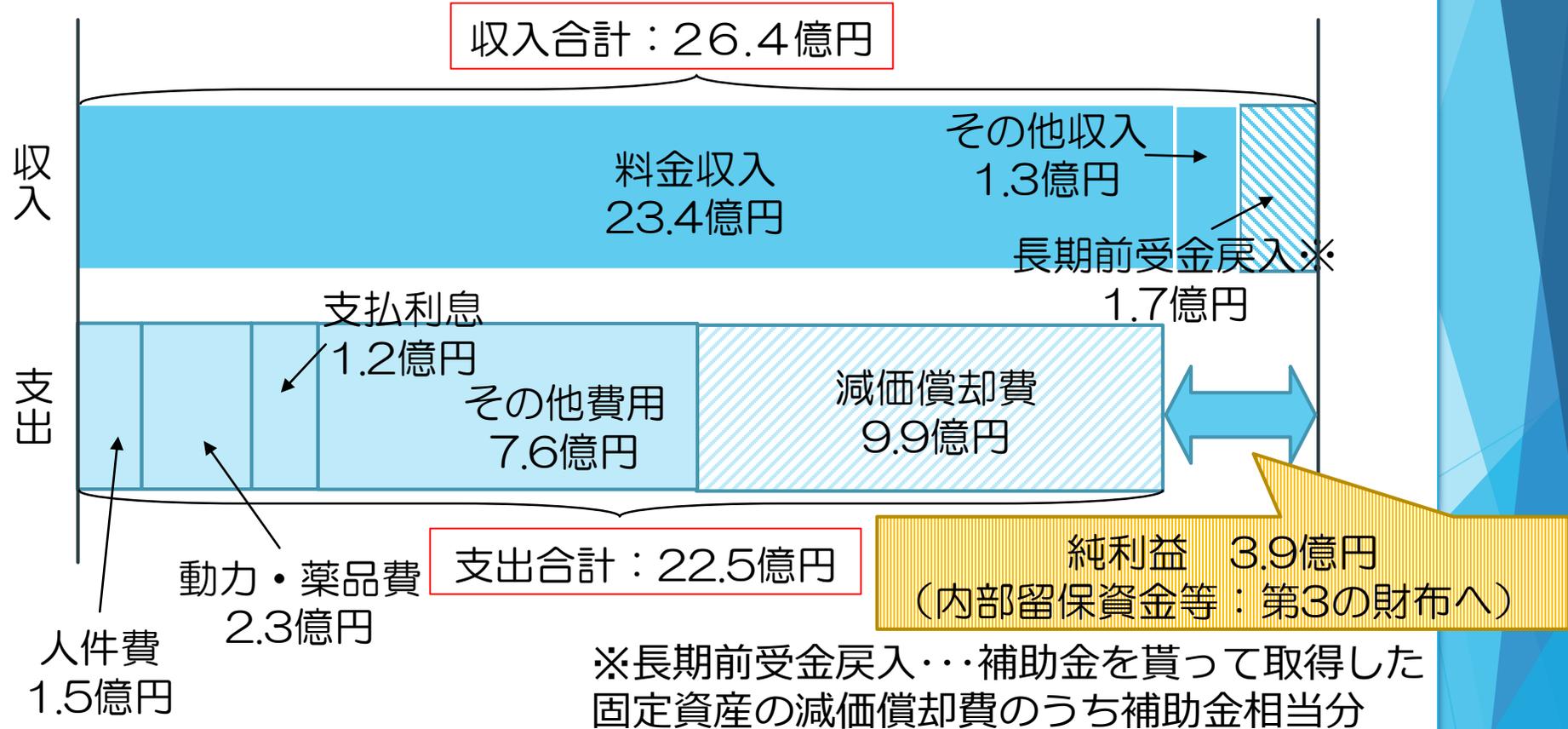


令和4年度決算の説明

1 水道事業会計

1-2 収支の状況

○収益的収支：第1の財布（税抜）



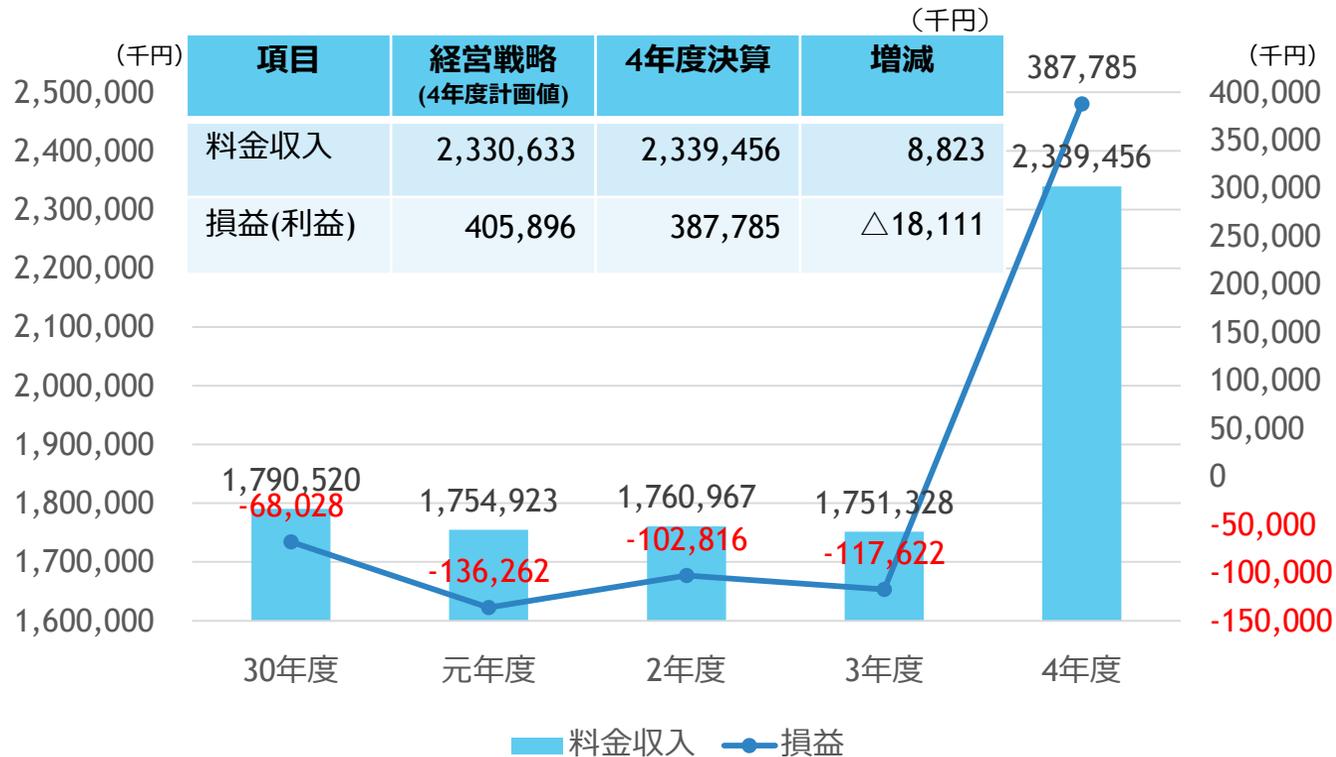
令和4年度決算の説明

1 水道事業会計

1-2 収支の状況

○料金収入、損益の推移

※料金収入は、消費税を除く

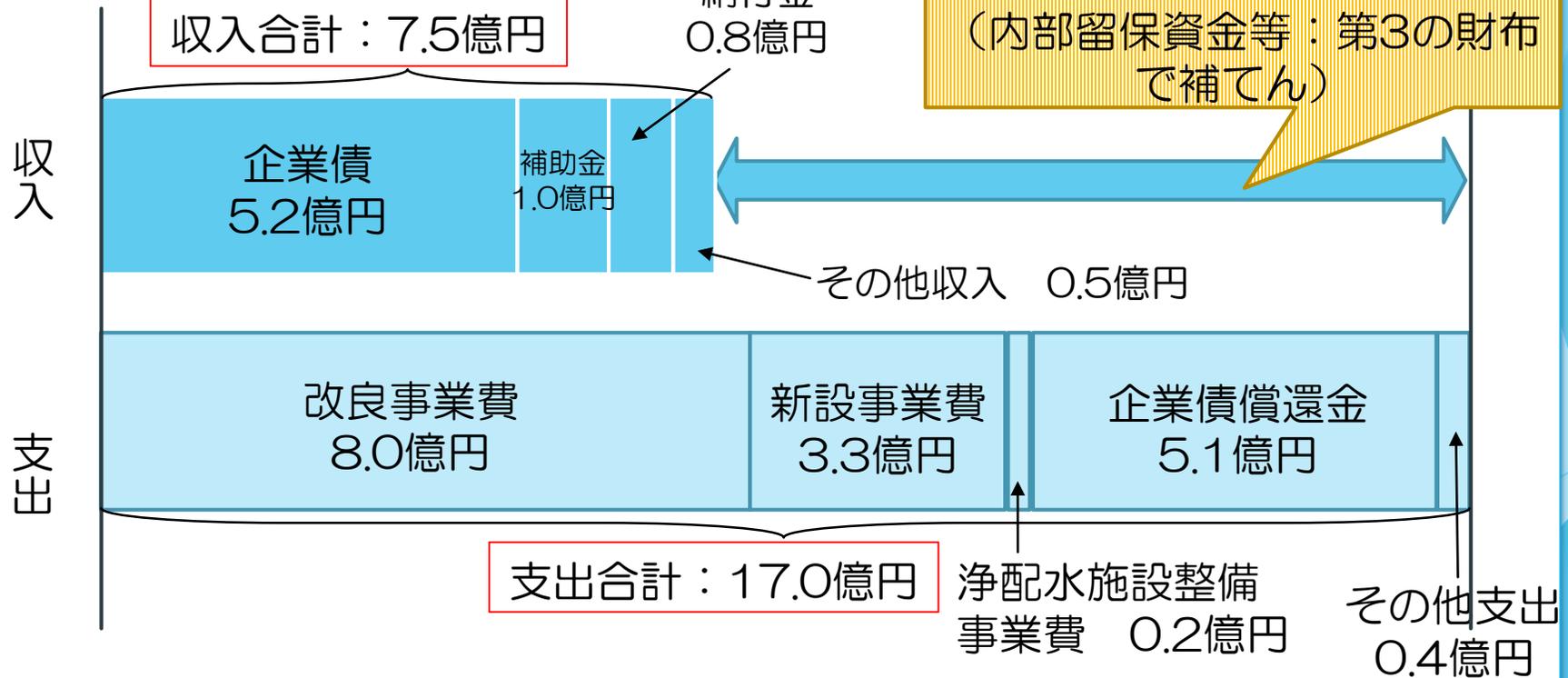


令和4年度決算の説明

1 水道事業会計

1-2 収支の状況

○資本的収支：第2の財布（税込）



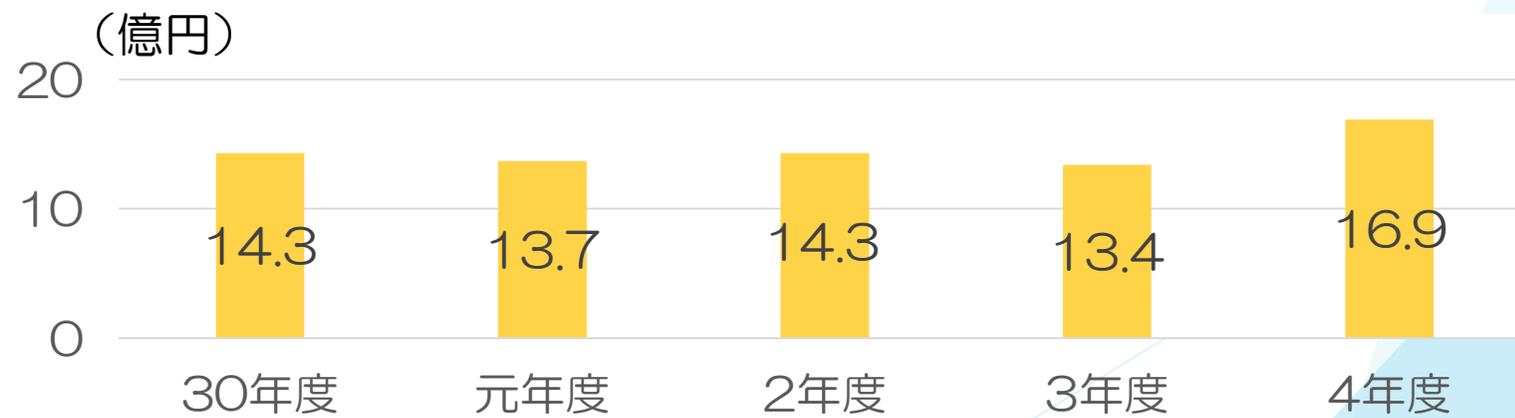
令和4年度決算の説明

1 水道事業会計

1-3 水道事業会計の内部留保資金等（第3の財布）残高の内訳

年度	内容	金額	うち	
			収益的収支	資本的収支
3	前年度期末残高	13.4億円	1.6億円	11.8億円
4	増減(収益的収支)	3.9億円	3.9億円	
	補てん(資本的収支)	△9.5億円		△9.5億円
	当年度分	9.1億円		9.1億円
	当年度期末残高	16.9億円	5.5億円	11.4億円

1-4 水道事業会計の内部留保資金等残高の推移（5年間）



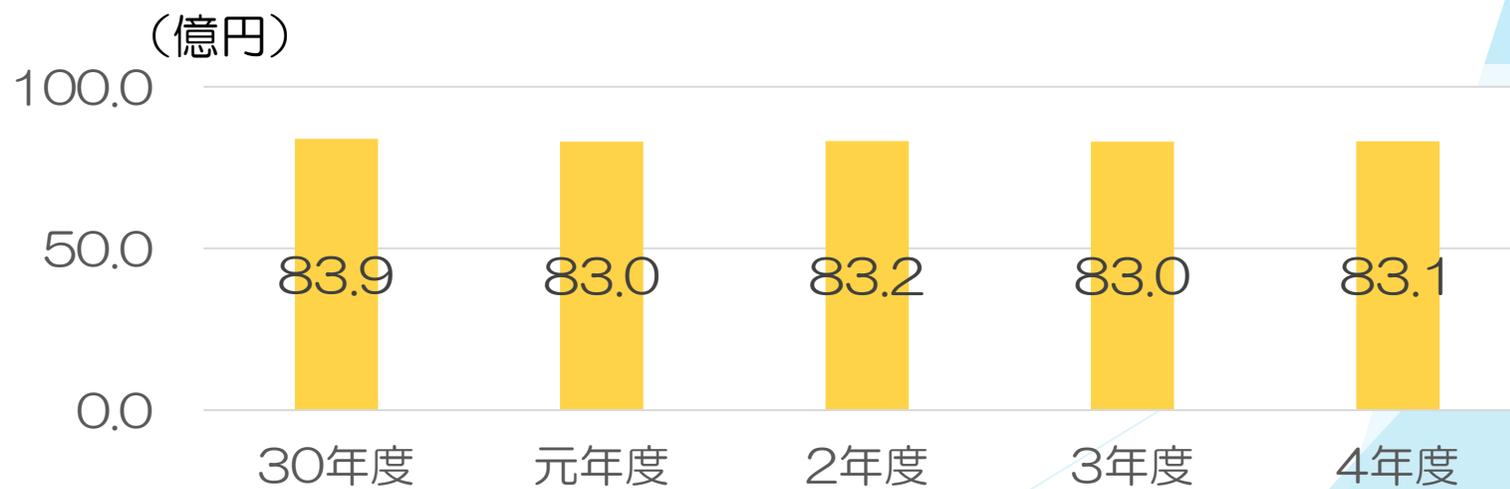
令和4年度決算の説明

1 水道事業会計

1-5 水道事業会計の企業債残高の状況

年度	内容	金額
3	前年度期末残高	83.0億円
4	償還（返済）額	△5.1億円
	起債（借入）額	5.2億円
	当年度期末残高	83.1億円

1-6 水道事業会計の企業債残高の推移（5年間）



令和4年度決算の説明

1 水道事業会計

1-7 令和4年度の主な事業

収益的収支	資本的収支
<ul style="list-style-type: none">浄水場運転管理及び料金収納等業務委託（水道会計分） 3億2,452万円給配水管緊急修繕委託 7,544万円	<ul style="list-style-type: none">配水施設改良工事 （重要給水施設等配水管布設替工事等） 5億1,890万円浄水場等施設改良工事 （網分配水池送水管布設替工事等） 1億7,395万円諸施設新設工事 （太郎丸浄水場粒状活性炭設備新設等工事等R3～4年度継続費） 3億867万円



令和4年度決算の説明

1 水道事業会計

1-8 財務・経営の状況（指標）

項目	本市 (R4)	〔参考〕 本市(R3)	類似団体 (R3)	説明
経常収支比率 (%)	117.23	92.23	111.89	$(\text{経常収益} / \text{経常費用}) \times 100$
				経常費用が経常収益でどの程度賄われているかを示す指標。 100%を上回っていれば健全な経営状態となる。
料金回収率 (%)	118.37	90.55	104.33	$\frac{\text{供給単価 (190.96円)}}{\text{給水原価 (161.32円)}} \times 100$
				水を作り各家庭に届けるまでの費用を、どの程度水道料金で賄っているかを示す指標。100%を上回っていれば必要な経費を水道料金で賄っているといえる。
企業債残高対 給水収益率 (%)	355.44	474.04	236.29	$(\text{企業債残高} / \text{給水収益}) \times 100$
				給水収益に対する企業債残高の規模を示す指標。 数字が小さい方が安全性が高い（借金の割合が少ない）といえる。

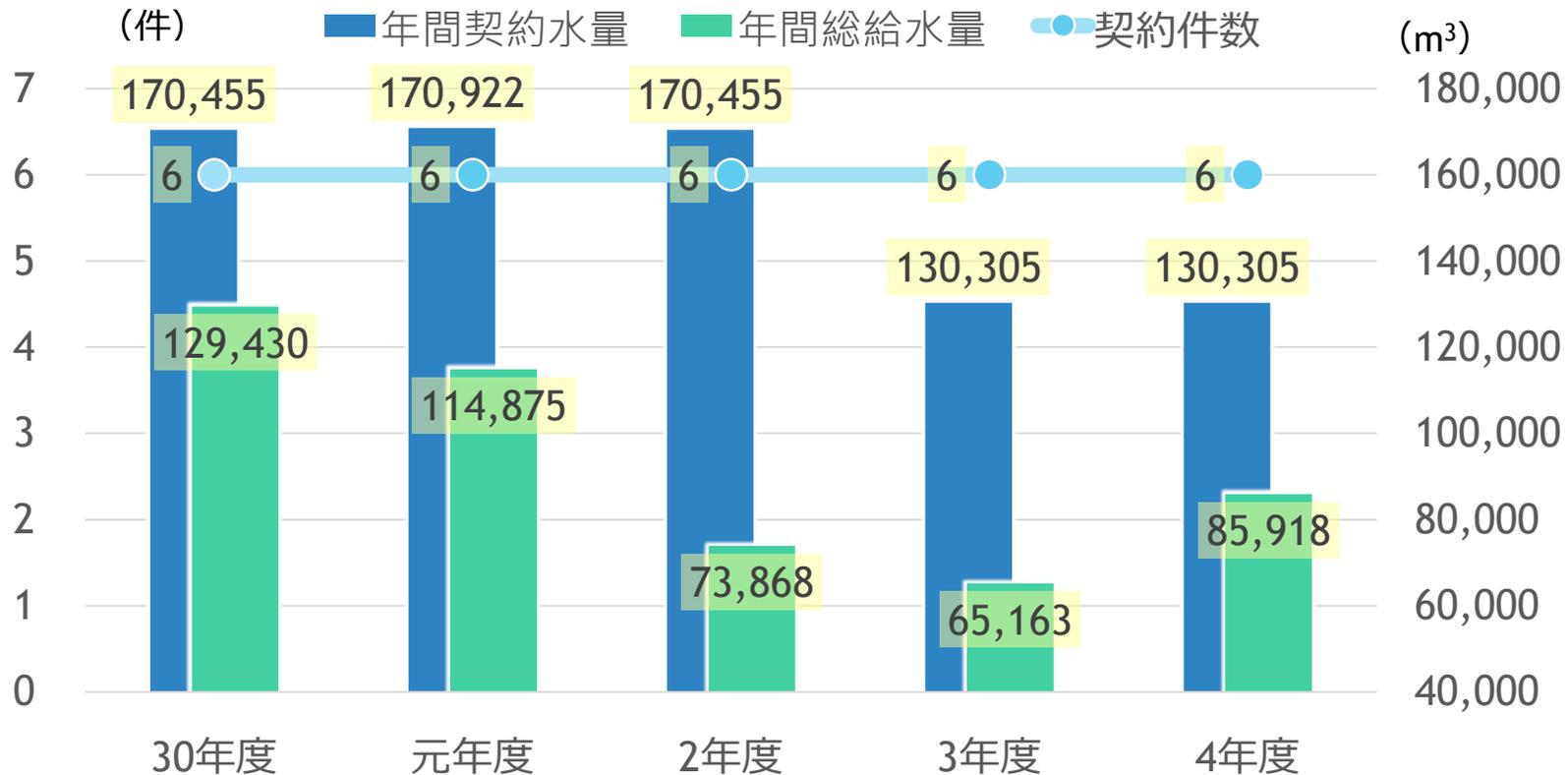
工業用水道事業会計

令和4年度決算の説明

2 工業用水道事業会計

2-1 工業用水道事業の推移

○契約件数、年間契約水量、年間総給水量の推移

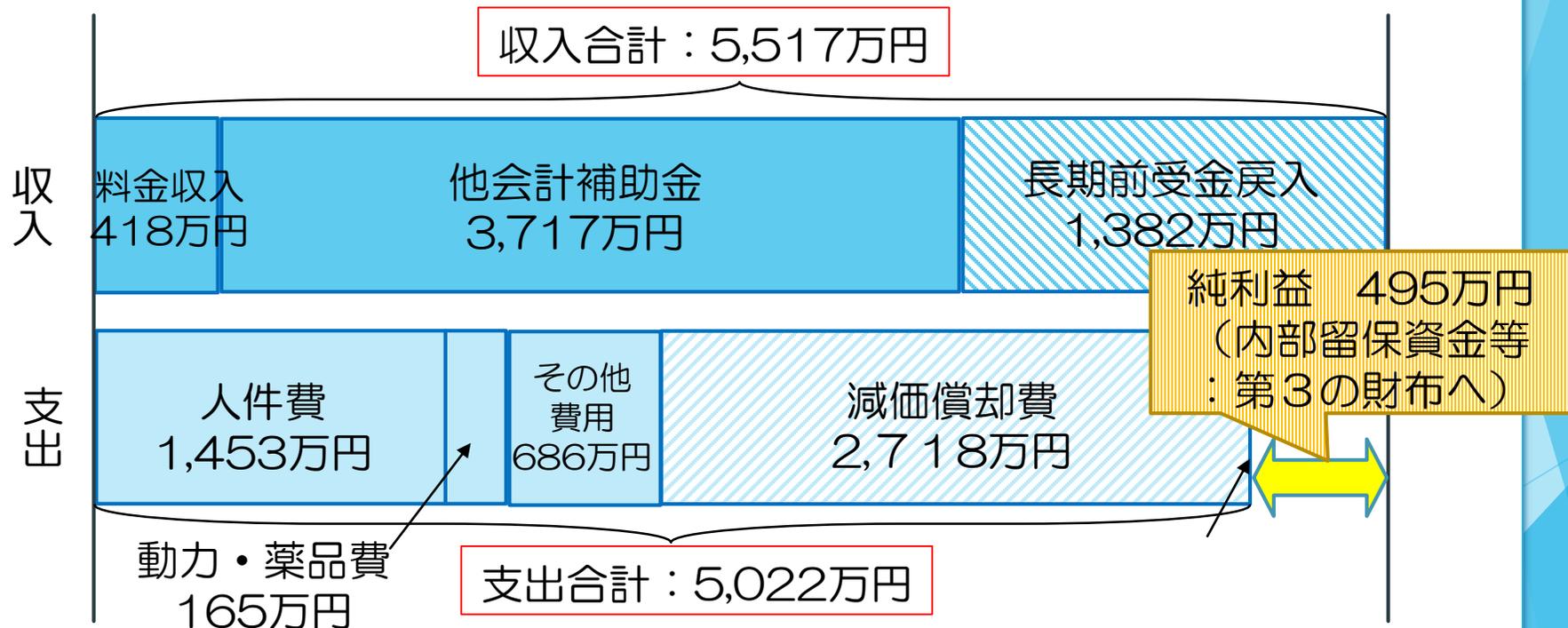


令和4年度決算の説明

2 工業用水道事業会計

2-2 収支の状況

○収益的収支：第1の財布（税抜）



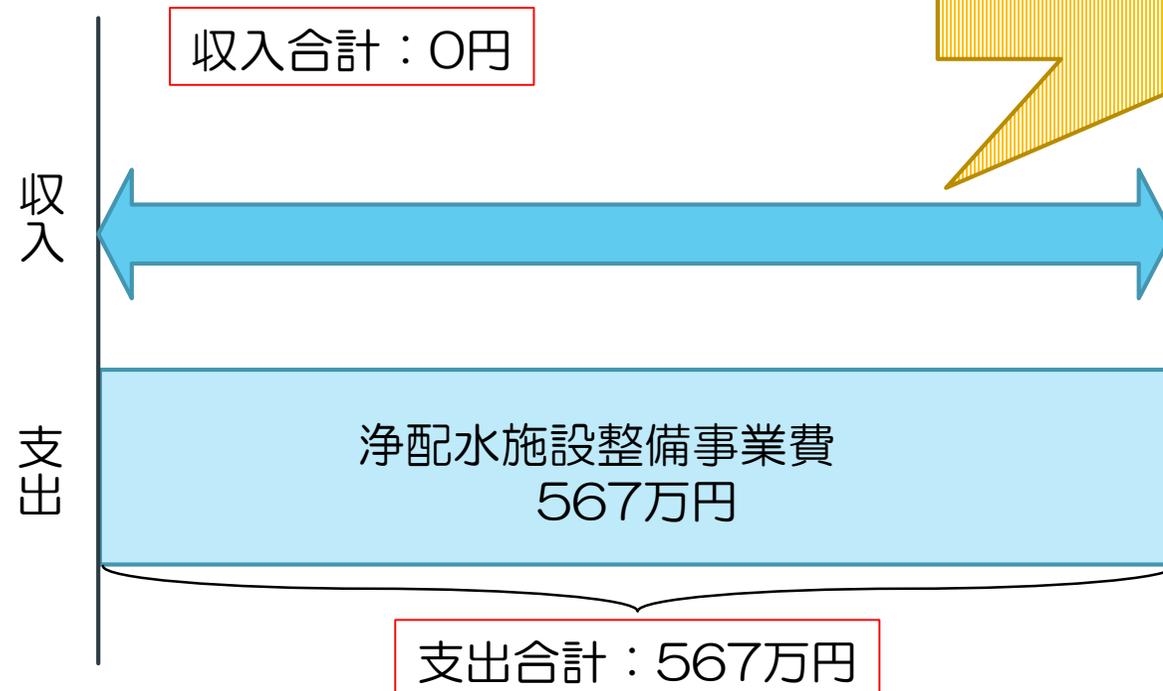
※工業用水道事業は、昭和45年に石炭産業の衰退に対する地域経済の活性化のために市の政策として開始した事業であるため、事業運営に不足する金額は一般会計（市長部局）が負担することとなっている。

令和4年度決算の説明

1-2 工業用水道事業会計

1-2-2 収支の状況

○資本的収支：第2の財布（税込）



不足額 567万円
(内部留保資金等：第3の財布
で補てん)

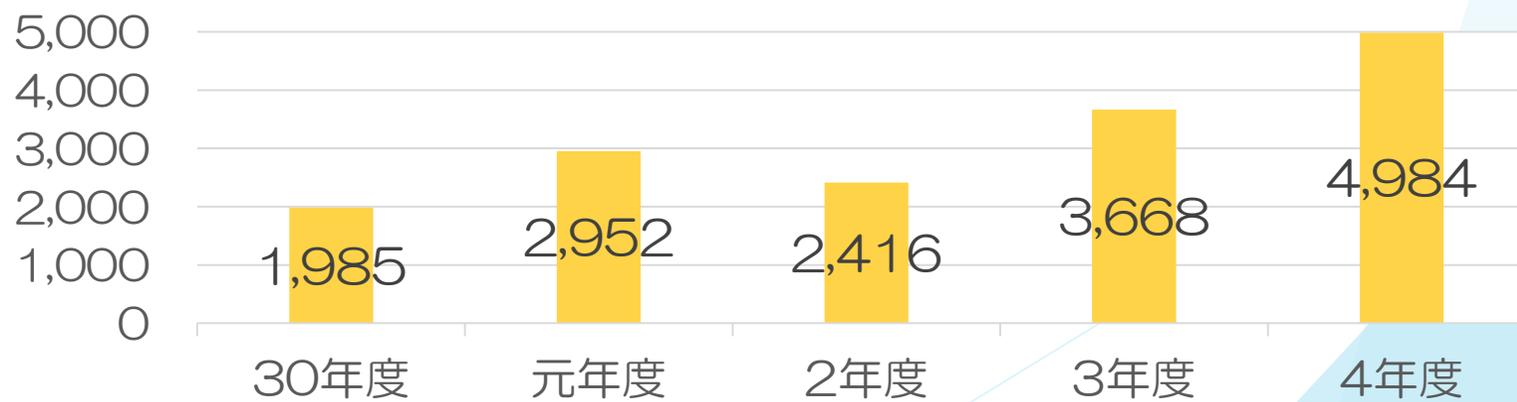
令和4年度決算の説明

2 工業用水道事業会計

2-3 工業用水道事業会計の内部留保資金等（第3の財布）残高の内訳

年度	内容	金額	うち収益的収支	うち資本的収支
3	前年度期末残高	3,668万円	432万円	3,236万円
4	増減(収益的収支)	495万円	495万円	
	補てん(資本的収支)	△567万円		△567万円
	当年度分	1,388万円	△432万円	1,820万円
	当年度期末残高	4,984万円	495万円	4,489万円

2-4 工業用水道事業会計の内部留保資金等残高の推移（5年間） （万円）



令和4年度決算の説明

2 工業用水道事業会計

2-5 令和4年度の主な事業

収益的収支	資本的収支
<ul style="list-style-type: none">浄水場運転管理及び料金収納等業務委託 (工水会計分) <p>65万円</p>	<ul style="list-style-type: none">浄配水施設整備事業 (津原導水管更新実施設計業務負担金) <p>567万円</p>

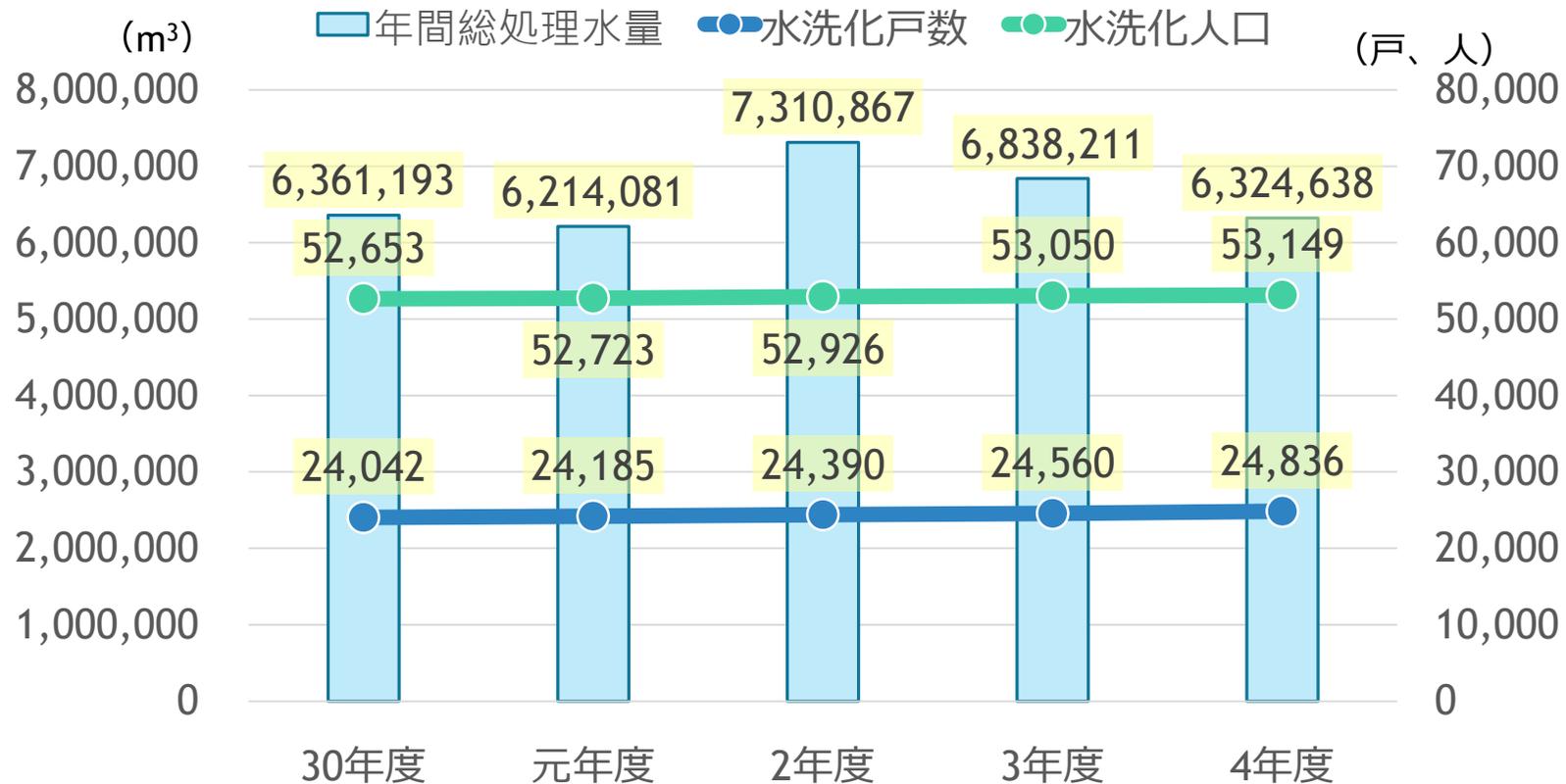
下水道事業会計

令和4年度決算の説明

3 下水道事業会計

3-1 下水道事業の推移

○年間総処理水量、水洗化戸数、水洗化人口の推移

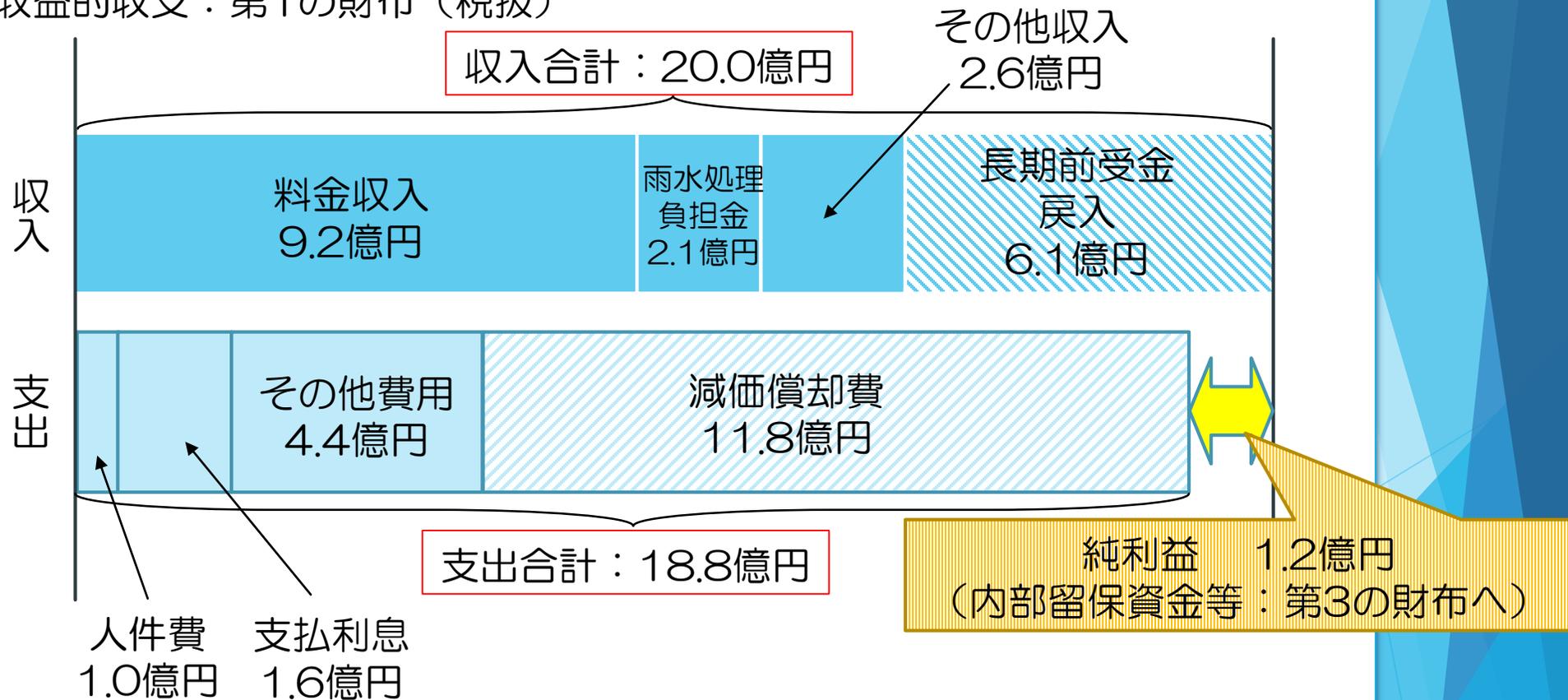


令和4年度決算の説明

3 下水道事業会計

3-2 収支の状況

○収益的収支：第1の財布（税抜）



令和4年度決算の説明

3 下水道事業会計

3-2 収支の状況

○使用料収入、損益の推移

※使用料収入は、消費税を除く

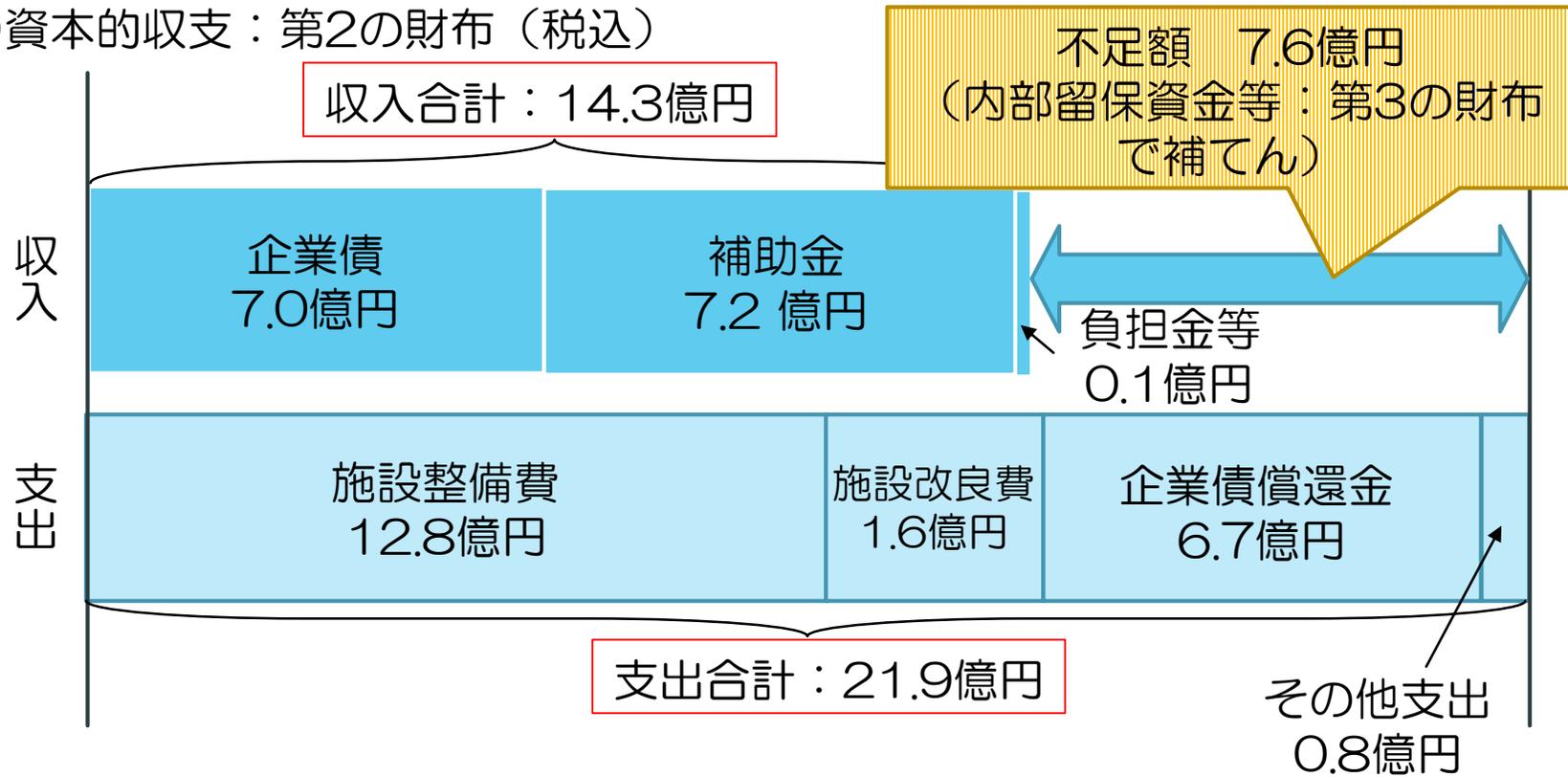


令和4年度決算の説明

3 下水道事業会計

3-2 収支の状況

○資本的収支：第2の財布（税込）



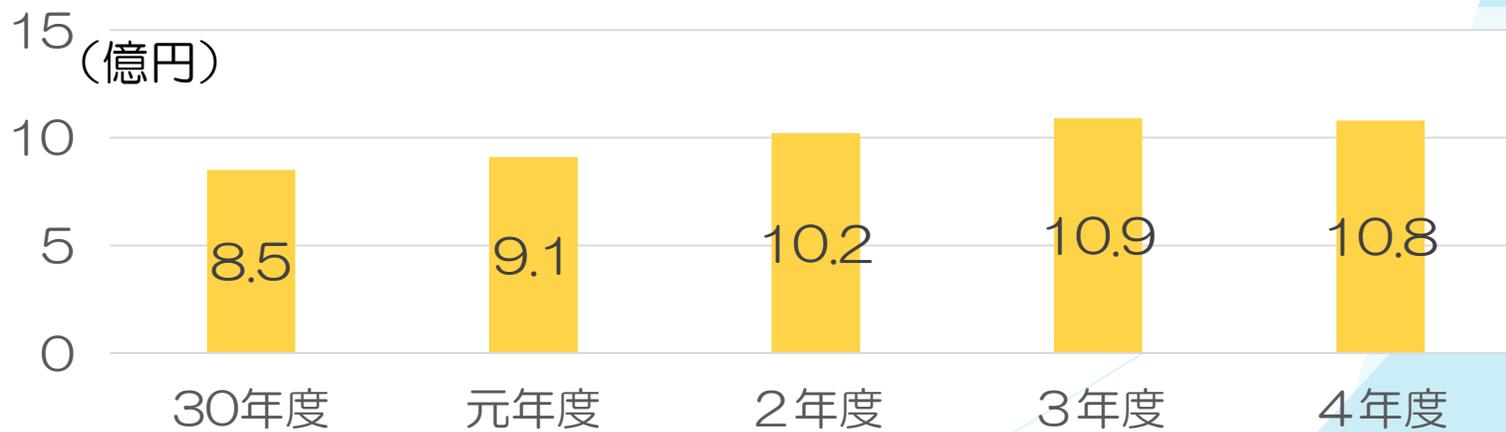
令和4年度決算の説明

3 下水道事業会計

3-3 下水道事業会計の内部留保資金等（第3の財布）残高の内訳

年度	内容	金額	うち	
			収益的収支	資本的収支
3	前年度期末残高	10.9億円	1.7億円	9.2億円
4	増減(収益的収支)	1.2億円	1.2億円	
	補てん(資本的収支)	△7.6億円		△7.6億円
	当年度分	6.3億円	△1.7億円	8.0億円
	当年度期末残高	10.8億円	1.2億円	9.6億円

3-4 下水道事業会計の内部留保資金等残高の推移（5年間）



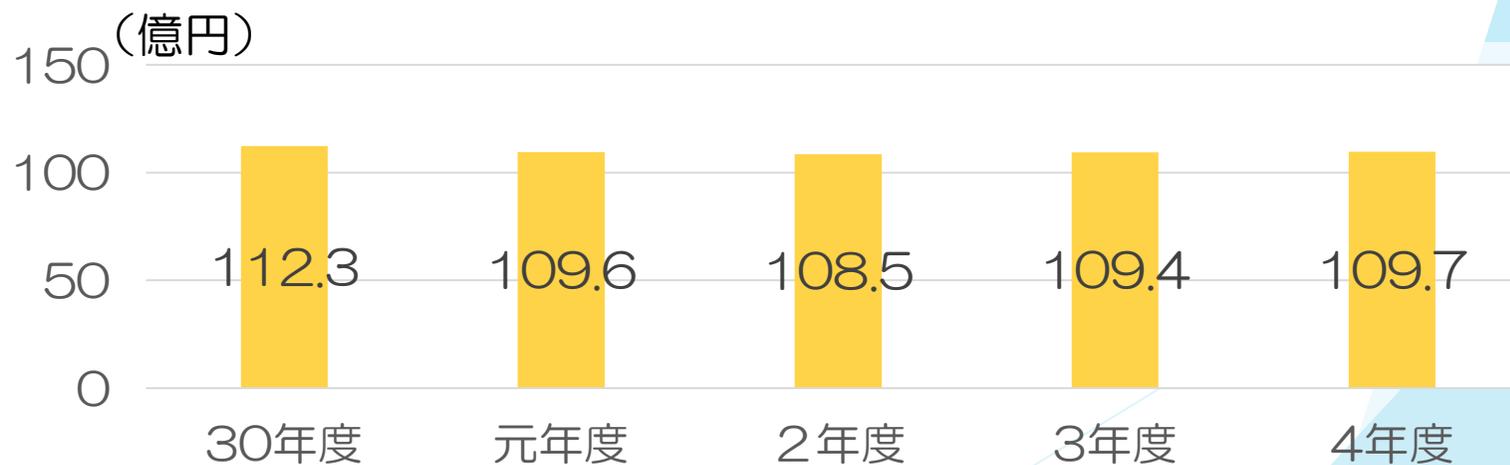
令和4年度決算の説明

3 下水道事業会計

3-5 下水道事業会計の企業債残高の状況

年度	内容	金額
3	前年度期末残高	109.4億円
4	償還（返済）額	△6.7億円
	起債（借入）額	7.0億円
	当年度期末残高	109.7億円

3-6 下水道事業会計の企業債残高の推移（5年間）



令和4年度決算の説明

3 下水道事業会計

3-7 令和4年度の主な事業

収益的収支	資本的収支
<ul style="list-style-type: none">終末処理場運転管理業務委託 5,100万円終末処理場機器修繕 3,713万円使用料賦課徴収事務費負担金 2,132万円	<ul style="list-style-type: none">施設整備事業 <u>(水江雨水ポンプ場新設(機械) 工事等)</u> 5億6,503万円ポンプ場等施設改良事業 (各ポンプ場遠方監視制御設備改築等 工事等) 7,710万円

水江雨水ポンプ場



令和4年度決算の説明

3 下水道事業会計

3-8 財務・経営の状況（指標）

項目	本市	類似団体(R3)	説明
経常収支比率 (%)	106.44	108.04	$(\text{経常収益} / \text{経常費用}) \times 100$ 経常費用が経常収益でどの程度賄われているかを示す指標。 100%を上回っていれば健全な経営状態となる。
経費回収率 (%)	100.00	97.07	$(\text{下水道使用料} / \text{汚水処理費}) \times 100$ 汚水処理の費用を、どの程度下水道使用料で賄えているかを示す指標。 100%を上回っていれば必要な経費を下水道使用料で賄っているといえる。
企業債残高対 事業規模比率 (%)	959.70	825.10	$\frac{(\text{企業債残高} - \text{一般会計負担額})}{(\text{営業収益} - \text{一般会計負担金等})} \times 100$ 料金収益に対する企業債残高の規模を示す指標。 数字が小さい方が安全性が高い（借金の割合が少ない）といえる。

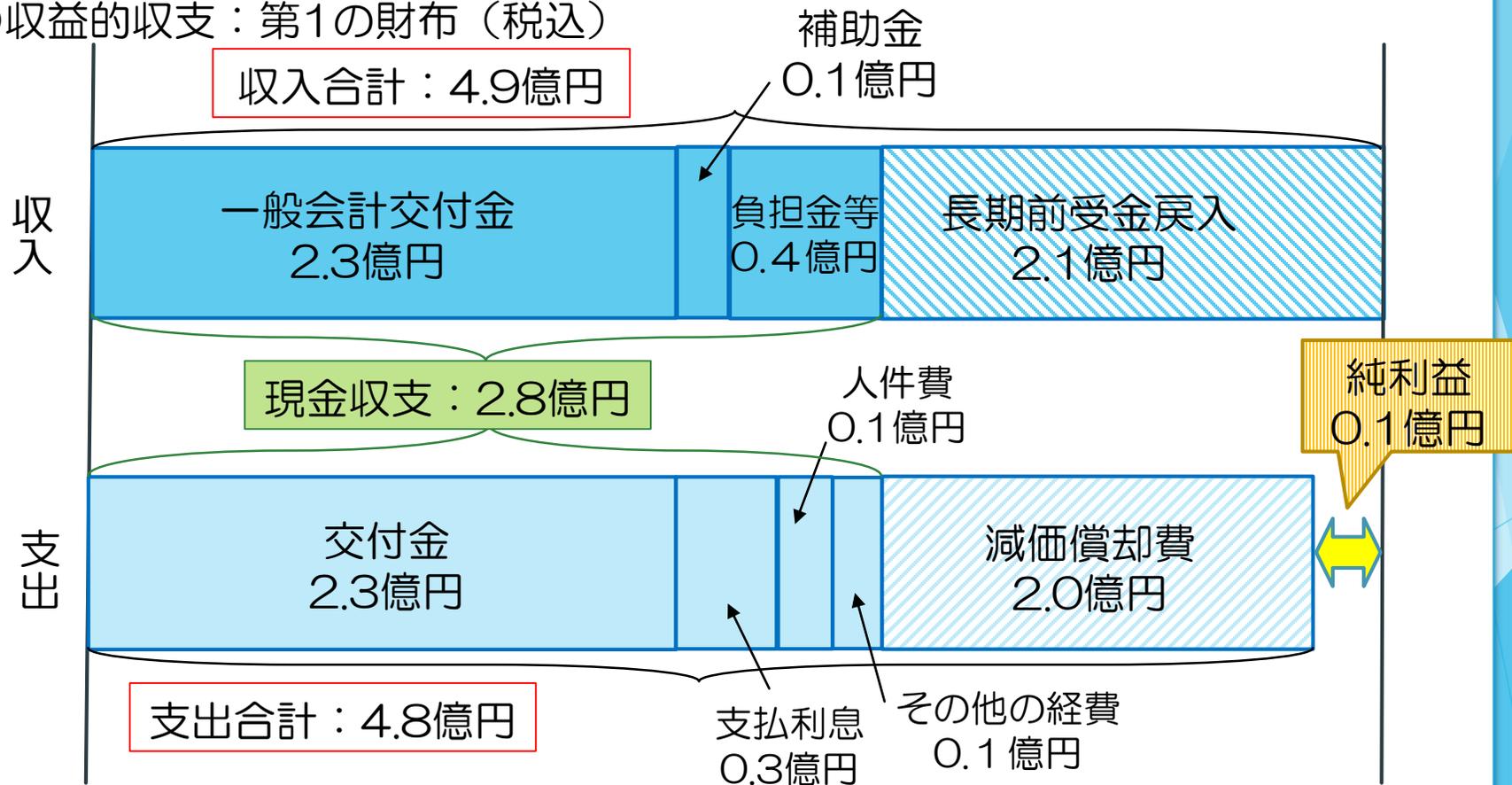
病院事業会計

令和4年度決算の説明

4 市立病院事業会計

4-1 収支の状況

○収益的収支：第1の財布（税込）



令和4年度決算の説明

4 市立病院事業会計

4-1 収益的収支の剰余金計算

項目	金額
当年度 純利益	691万円
前年度繰越欠損金	9億996万円
当年度未処理欠損金	9億305万円

令和4年度決算の説明

4 市立病院事業会計

4-1 収支の状況

○資本的収支：第2の財布（税込）



令和4年度決算の説明

4 市立病院事業会計

4-2 市立病院事業会計の企業債残高の状況

年度	内容	金額
3	前年度期末残高	30.9億円
4	償還（返済）額	△1.9億円
	起債（借入）額	—
	当年度期末残高	29.0億円

4-3 市立病院事業会計の企業債残高の推移（5年間）



※企業債の元利償還金は、当該年度に算入される交付税の額を除き、指定管理者の負担となっている。

【病院事業債の場合】
指定管理者負担 75%
一般会計負担(交付税措置分) 25%